

寒小ギクの電照栽培における再電照効果

佐藤義機

寒小ギクの開花期の遅延と切花品質の向上についての再電照効果を検討した。

1. 再電照により,寒小ギクの切花長と花蕾数が増加し,切花品質は向上した。
2. 再電照はどの品種も開花期を 15~25 日間遅延させた。開花期の遅延効果は再電照の期間や回数が多くなるほど高くなった。このほか,寒小ギクの開花は高温の時ほど,日長時間が長くなるほど著しく遅延することがわかった。
3. 着蕾様相は再電照により変化し,その度合は品種で異なった。また,再電照期間が長くなるほど高くなる傾向を示した。着蕾様相の変化が小さかった品種は「寒風」,「あさぎり」,「春の雪」,「春の光」であった。逆に,変化が大きかった品種は「元旦」,「島小町」,「あわゆき」,「金御園」であった。